

Weekly Rotary Report

東京八王子西
ロータリークラブ



よいことの
ために
手を取りあおう

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ

●2025-26 年度
国際ロータリー
会長メッセージ

2025-26 No. 5 令和 7 年 10 月 3 日

●会長標語

会長 相川 博

ロータリーで人生を豊かに

今週のプログラム

- 第 2834 回 (10/3)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*[三祝]

- *イニシエーション・スピーチ
小澤裕会員

次回のプログラム

- 第 2835 回 (10/10)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*公益財団法人 米山梅吉記念館

- 副理事長 多田幸雄氏
- テーマ「米山梅吉記念館の話題あれこれ」

コンクリート研磨とは？
ご覧になったことがない方には、「コンクリート研磨とは何か」と疑問に思われることでしょう。そこで、今から5分ほどのビデオで紹介しましょう。ぜひ楽しみながらご覧ください。お疲れの方はどうぞお休みになっても構いませんし、自由に感想やご意見をお聞かせいただいても結構です。



株式会社エイト 代表取締役社長 門倉 裕 氏

卓話「独自工法によるコンクリート表面研磨について」

2025年9月19日

国の米軍基地で仕事を請け負っていました。その時、軍の関係者の方から「門倉さん、ポリッシュコンクリートをやってみませんか？エイトさんならできるはずです」と声をかけられたのが始まりでした。「ポリッシュコンクリートとは何だろうか」と調べてみると、それがコンクリート研磨だと分かりました。当社は清掃用の機械でいたため、清掃用の機械でできるのではないかと、少し毛が生えた程度だろうと考え、「当社がやります」と引き受けました。

失敗から学んだこと

初めての施工は、今から22(23年前のこと)になります。沖縄のキャンプ・シユワブ内のショッピングセンターでした。床の鏡面度を測るグロスチェックという測定器があり、合格には70以上の数値が必要でした。しかし、施工してみると、どうしても70まで到達しませんでした。「とんでもない仕事に手を出してしまっ」と後悔しましたが、お客様に喜んでいただくためにはなりません。3000万円という大きな仕事を受け入れた以上、責任を果たす必要がありました。そこで、3か月の工期中に、仕事の合間を縫ってコ

ンクリートの分析とテストを繰り返ししました。その結果、なんと75という数値を達成し、合格をいただくことができました。安請け合いですし、まったく反省しましたが、これほど大変な仕事なら、他の会社は安易に真似できないだろうと考えました。これは当社にとって大きなチャンスになると確信し、それ以来、分析とテストを徹底的に繰り返しました。

多くの人々の支え

このような経験から、私は多くのことを学びました。たとえば、青年部時代に黒須先輩から「一つのことを成し遂げる」とこの大切さを教わりました。私が「現代の名工」をいただけたのは、八王子に多くの先輩方のおかげだと、心から感謝しています。現在、日本でこの仕事を専門的に行っている会社は、当社の1社しかありません。この仕事は必ず利益を生む。しかし、他社が追従できない技術力を身につけなければならぬと考え、様々な努力を重ねてきました。多くの人は、突発的な出来事には真剣に取り組みますが、それを継続することはしません。私は、継続こそが大事だと、先輩方から学

びました。
あと一歩先にあるもの
周りからは「本当にうまくいくのか」「これ以上難しいのではないのか」と言われることもありました。私は「あと一歩の先にあるもの」を信じています。「もう無理だ」と思った先にこそ、成功があると信じているからです。これは社員にも常に伝えていくことです。当社の不動産事業では宅建の試験を毎年受けていますが、何回も不合格になる人がいます。しかし、失敗は諦めた時に初めて失敗となるのです。5回目で合格する人もいます。挑戦し続けられれば、必ず成功すると私は考えています。23年間この事業を続けてきたからこそ、今の状況があるのだと思います。私一人の技術や分析だけでは限界があると感じ、コンクリート研磨協会やアメリカの複数のコンクリート業界団体にまで足を運び、資格を取得しました。この資格を持つているのは、日本で唯一、私だけです。アジア全体でも、私一人しかいません。私は中学校卒ですが、学歴に関係なく、努力すればこのようになれるのです。社員の皆さんにも「諦めずに努力すれば必ず取れる」と伝えていきます。

研磨技術がもたらす

メリット

2019年に施工したショッピングモールでは、セラミックタイルが使用されていました。発売当時は「汚れない」と言われていましたが、3〜4年経つと真つ黒になってしまします。これを剥がして研磨する施工を行いました。イオンさんの商業施設でも、黒ずみがひどく、光沢はあるものの清潔感がないという問題があり、研磨を提案しました。米軍基地でも、既存のセラミックタイルとコンクリート

研磨、どちらが良いかという選択肢から、後者が選ばれることが増えていきます。コンクリート研磨には多くのメリットがあり、特にメンテナンスがほとんど不要な点が注目されています。アメリカやヨーロッパでは、すでにこの技術が主流になりつつありますが、日本ではまだ認知度が低く、100人中1人か2人しか知らないのが現状です。私たちは、より多くの人に知ってもらうための活動を続けています。

新規事業成功の秘訣

私が新規事業を始める上で最も大切にしているのが、「構想」「計画」「実行」です。そして「知っている」と「できる」は全く違うという考えです。新しいことに挑戦しようと

誘うと、「経験がないから無理」「伝統的なビジネスだから成功しない」など、様々な否定的な意見に直面します。しかし、私は「新規事業をやる」という信念を持って進むことが大切だと考えています。

私の信条は「ポジティブに構想し、ネガティブに計画し、ポジティブに実行すること」です。

「知っている」から

「やっている」へ

仕事において、以下の3つの段階があることに気づきました。

- 1.「知っている」：本で読んだり、人から聞いたりした情報がある状態。
- 2.「できる」：知っている状態から一歩進み、やろうと思える状態。しかし、知っているだけで行動に移せない人がほとんどです。
- 3.「やっている」：「知っている」「できる」ことで日頃から実践している状態。

私たちの人生を変えるのは、「やっている」人だけなのです。評論家のように批判する人はたくさんいますが、行動しなければ何も気づけません。

私は、中国語と英語も話すことができます。行動したからこそ、中国や台湾での活動を通じて、多くの仲間と出会うことができました。今では、

アジアの仲間とコンクリート協会を設立するため、定期的に会議を行っています。また、カナダの世界トップ3に数えられる企業とも交流し、技術を高め合っています。

顧客を喜ばせる仕事

当社の施工には、通常18から20の工程があります。現場によって最適な方法が異なるため、常に同じやり方ではありませぬ。最終的には、まるで大理石のようにピカピカの床が完成します。これはコンクリートとは思えないほどです。この技術の最大のメリットは、メンテナンスが不要になることです。これまでのショッピングセンターでは、

月1回のワックスがけや年2回の剥離作業が必要でしたが、コンクリート研磨後は日常の清掃だけで済み、ランニングコストが大幅に削減できます。また、SDGsの観点からも優れています。ワックスの廃液や、Pタイルなどの張り替えに伴う廃棄物が出ないため、環境に優しい技術として、世界では主流になりつつあります。

日本一から世界一へ

私が非常に大切にしている言葉があります。「日本で一番の企業から、世界で一番の企業を目指す」というものです。かつてカナダの会社を集ま

た際、当社の鏡面仕上げの数値を尋ねられ、私が「90くらいです」と答えると、「我々は100だ。お前は100もでないのか」と言われ、非常に悔しい思いをしました。その悔しさから、徹底的な研究と分析を重ね、ついに100を達成することができました。「2番じゃだめなんですか？」という政治家の言葉もありましたが、やはり一番を目指すことが大切です。

時代を捉え、行動する

コンクリート研磨は、ほとんどの人がまだ知らない技術です。そこで私は、この技術を広めるために、展示会を開催することにしました。コロナ禍前には、プリンスホテルやネットヨタなど、多くの企業から声がかかるようになり、実演を交えながら、機械の販売や施工の活動を続け、多くの方に知っていただくことができています。

時代は常に変化し、事業のあり方も変わるべきだと考えています。目の前の仕事に心から惚れ込み、これが自分の天職だと信じていることができれば、必ず成功するはず。そして社員にも伝えていくのが「すべきこと」と「できること」の違いです。会社が定めた「すべきこと」(ルーティン業務や資材の調達など)をこなすのは当然ですが、それに

加えて「できること」(お客様を喜ばせること、創造性を発揮すること、資格取得や技術開発など)にも取り組む人が成長します。

今、当社で働いているロータリー会員のご子息は、「すべきこと」に加え、「できること」にも熱心に取り組んでいきます。きつと次回の発表会では、彼がこの場で話をしてくれることでしょう。

無意識で有能なプロへ

最後に、自分の仕事の段階を理解することの重要性をお伝えします。この階段は4つのステップで構成されています。

- 1.無意識で無能：何も知らないで楽な状態。
- 2.有意識で無能：自ら学び始め、意識はあるが、まだ能力が伴わないため苦しい時期。
- 3.有意識で有能：意識と能力が向上し、物事ができるようになる状態。
- 4.無意識で有能(プロフェッショナル)：無意識のうちに完璧にこなせる状態。できる人が榮そうに見えるのはこのためです。

私はスタッフに「今は2番目で苦しいだろうが、3番目、そして4番目へと進めば、無意識のうちにできるようになる」と話しています。どの段階にいたのかを理解することが、成長への鍵となります。

例会報告

第2832回・2025・9・19(金)

◇司会

松本利子会場監督補佐



司会／
松本会場監督補佐

◇開会点鐘 相川 博会長

◇Rソング

◇お客様のご紹介

株式会社エイト
代表取締役社長 門倉裕様

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告

滝島徳久出席委員



出席報告／
滝島出席委員

会員118名中69名出席。
出席率61・61%。前々回9月
5日の出席率65・49%を
71・68%に修正いたします。

◇ニコニコ発表

田村肇財務副委員長



ニコニコ発表／
田村財務副委員長

◇会長挨拶 相川 博会長

*敬老週間ということで、東
京都知事の小池さんが、ま
もなく百歳を迎える「すき

やばし次郎」の創業者小野
さんのところを訪ねお祝いの
記念品を渡したそうです。



会長挨拶／
相川 博会長

*わたしも数ヶ月したら喜寿
を迎えます。人生を振り返
ってみますと、ドジを踏
んだことが思い出されます
ので、いくつかご紹介した
いと思います。

*23年前に八王子市老人クラ
ブ連合会の新年会によられ
た時に、急に挨拶をするこ
とになりました。何の準備
もしておらず、とつさにP
PK運動の話をしました。
当時その言葉は日本全国に
知れ渡る前でしたが、PP
Kというのはピンピン生き
てコロリと死ぬという意味
です。その話をしたら最前
列の幹部らしき人がとても
嫌な顔をしていました。ふ
さわしい話題ではなかった
なと反省しましたが、思っ
た通り翌年からはよけれな
くなりました。

*もう一つは、数年前に子安
にある黒いビルに歯医者さ
んが開院してすぐの頃、奥
歯が痛かったので受診しま
した。すぐく丁寧に診てく
れたのですが「来週2本の
歯を抜きます」と言われ、
帰ってから妻に伝えたら

「すぐ歯を抜く歯医者はや
めたほうがいい」と言うの
で、断りの電話を入れてか
らいつもの歯医者さんに
行ったら同じ見立てで「す
ぐ抜きます」ということにな
り、結局2本抜いて帰っ
てきました。その時に「2
本抜いたらあと何本残りま
すか？」と聞くと「23本」と
言われました。その後もう
1本抜きましたので残りは
22本です。8020運動と
いうのがありまして、80歳
になった時に自分の歯が20
本あるのは健康の秘訣だそ
うです。あと3年2ヶ月、な
んとしてもこの22本を死守
したいと思っています。

◇幹事報告 立花 探幹事



幹事報告／
立花 探幹事

*メールボックスにウィーク
リー第4号を配布いたしま
した。

◇スピーカー紹介

塩野明プログラム副委員長



スピーカー紹介／
塩野プログラム
副委員長

スピーカー 株式会社エイト

代表取締役社長 門倉裕氏
テーマ「独自工法による
コンクリート表面研磨について」
謝礼贈呈

◇閉会点鐘 相川 博会長

ニコニコボックス

2025・9・19(金)

◆相川会長・お帰りなさい門
倉さん!!卓話楽しみます。

◆立花幹事・門倉様の卓話楽
しみにしています。

◆赤上・久しぶりに出席致し
ます。又、宜しく願いま
す。

◆秋間・門倉さんの卓話楽し
みにしています。

昨日、立川こぶしロータ
リークラブ主催のポリオ根
絶ゴルフコンペで新ペリが
はまってコース別準優勝に
なりました。

◆田辺・門倉マイスターの卓
話拝聴させていただきます
す。

◆檜崎博・現代の明工、門倉
社長の卓話楽しみます。

◆加藤・コンクリート研磨の
門倉社長の卓話を楽しみに
しています。

◆神辺・門倉さんの卓話を楽
しみにしております。

◆北澤誠一・門倉社長の卓話
楽しみにしています。よろ
しく願っています。

◆塚本・本日、門倉社長の卓
話楽しみにしています!

◆田村・門倉さん卓話楽し
みにしています。

◆長尾・門倉社長の卓話楽し
みにしております。

◆野口・門倉裕さんの卓話楽
しみます。

◆黒須・門倉君のスピーチ楽
しみにしています。

◆橋本・門倉社長、よろしく
お願いします。

◆三村・門倉さん、おひさし
ぶりで。

◆宮原・門倉社長の卓話を楽
しみにしています。

◆山口・とことん努力される
門倉裕さんに敬意を表しま
す。

◆塩野・門倉さんの卓話楽し
みにしています。

◆町田・門倉社長の卓話楽し
みます。

◆高松・門倉様お話楽しみに
しております。

◆浅川・門倉社長の卓話楽し
みます。

◆池田・門倉様、本日の卓話
よろしく願っています。

◆伊藤則久・門倉さん、楽し
みにしています。

◆梅田・門倉社長のおかげで
楽しくロータリーに参加さ
せていただいております。

◆森崎・門倉サン、卓話楽し
みます。

◆村井・8月入会の村井です。
右も左もよくわかりませ
んが、よろしく願いたしま
す。

◆山本俊明・ありがとうござ
いました。

(順不同・会員敬称略)

卓話「これからの日本を担う若者への期待をこめて 昨今の中学高校の現状」

2025年9月26日



明治大学付属八王子中学・高等学校 校長 林健司氏

学校の紹介

まず、本校の紹介をさせていただきます。

本校は八王子市の戸吹に位置し、明治大学の附属校として42年目を迎えます。ちょうど40周年の際に校名を変更し、以前は「明大中野八王子」という名称でしたが、学校名が長いという単純な理由から中野を外し、現在の「明大八王子」となりました。

私にとって、校長就任後最初の大きな仕事がこの校名変更でした。東京都への申請など、手続きに1年半から2年程度の時間を要しました。

学校法人としては「中野学園」と申しまして、今年で96年目を迎えます。東中野にある明大中野（男子校）とは同じ

学校法人です。教育活動自体は異なりますが、この3月に卒業した生徒については、卒業生の93%が明治大学へ内部推薦で進学しています。

私は日体大の卒業生であり、実は明治大学とは全く関係がありません。しかし、本校の学校法人の理事長（明治大学の理事長も兼務されている）が5年前、「明八の校長は明八から出すように」とのご指示をいただき、私が務めることとなり、現在に至り5年目となります。

建学の精神と教育の柱

私立学校であるため、教育の柱には「建学の精神」があります。

参考までにパンフレットを置かせていただきましたが、「質実・剛毅・協同・自治」という、やや堅苦しい言葉が建学の精神として掲げられています。

このような普段使わない、子どもたちにも通じにくい言葉、そして時代が異なる時に制定された建学の精神を今の時代に合わせるため、私は「みんな好きなものを作ろう」ということを常に提唱しています。

これは、大人たちにも言え

ることですが、「好きなものを持つている」ということが、生きていく中で自分の人生の柱になることを、私自身が実感してきた部分もあります。それをできるだけ簡単な言葉で伝えたいと考え、「好きなものをみんな持とう」と言い続けています。

それは好きな人でも、何でも構いません。人に言えない秘密の好きなものもあるかもしれないですが、「私はこれが大好きだ」ということをやりたい」という強い思いを持つことが、勉強よりも大切である、いつも生徒たちに伝えていきます。そして、その「好きなもの」を本校で一緒に探そう、と呼びかけています。

教師は偉そうにできない時代と言われますが、教師、保護者、卒業生、すべての大人たちは、人生の中で壁に当たり、悩み苦しむことを繰り返しながら歩んでいます。そんな中で時に孤独を感じたり、下を向いてしまうようなことがあったりする時、「好きなものを持つ」「このことがとても大切だ」と思います。

その大切さを中学生・高校生に伝えていきたいのです。もちろん「好きなもの」は生きていく中で変化して当然で

すし、常にそれを探し続けることが何より大事だと考えております。

チーム明八

また、建学の精神にある「協同・自治」は、震災後に「絆」といった言葉とともに、より注目されています。

私は、学校に関わるすべての人々、すなわち卒業生、保護者、教職員みんなが「チーム明八」のメンバーであるという意識を大切に、「一人ですべて生きているのではない」ということを意識することを呼びかけています。

その結果、保護者の方々や生徒たちも「チーム明八」という言葉を使ってくれるようになりました。

では、「チーム作り」とは何か。私もスポーツを長くやっている人間ですので、スポーツに例えて話をします。例えば集団スポーツであれば、オフェンスもあればディフェンスもいる。誰よりも力があることが得意な人もいれば、スピードが速い人もいます。みんなそれぞれ得意分野があることを認め合う。そうしなければ、良いチームはできないと常々話しています。

これは前述の話にもつなが

りますが、壁に当たったり、孤独を感じたりした時に、「一人じゃないんだ」「一人で生きているのではないんだ」ということを意識してほしい、という思いで、日々の学校運営や生徒への指導を行っています。

環境とアクセス

私自身は教員生活41年目、63歳になりますが、ずっと八王子の戸吹町、いわゆる山の中で過ごしてきました。ちょうどサマーランドの反対側あたりで、360度すべてが緑に囲まれた山にあります。この環境が本校の大きな特徴の一つです。

現在、中学・高校合わせて生徒数が約1500人いますが、生徒たちに「なぜ本校を選んだのか」と聞くと、「この環境がいい」「ここに行きたい」と答える子がほとんどです。

ただ、アクセスが悪いという課題があります。八王子駅からは西東京バスと提携したスクールバスで1000人、拝島駅からは500人程度の生徒が通学しています。朝の通学時、都立南多摩高校の前から乗車するのですが、駐車場がないため、路上駐車に近い状態で1000人の生徒を

運送しています。

近隣の方々からは、騒音や交通の妨げになるとしてご迷惑をおかけしたり、お叱りを受けたりますこともありません。おおむね皆様にご協力いただき何とか成り立っていますが、今の時代に大きな事故でもあれば大変だと、常に気を引き締めています。バスが到着し、1500人の生徒が皆校舎内に入ると、ようやく一安心といった日々です。

このようなアクセス面での課題があるにも関わらず、おかげさまで多くの方に本校を志望していただけています。この恵まれた環境を本当に大事にしなければなりません。八王子という場所に縁があった学校ができ、私自身もそこで教員を続けることができました。

時代と教育の変化

良い時代に教師ができた、内心は思っています。

時代とともに、私が教師として行ってきたことが、今の時代では「不適切」とされることが非常に多くなっています。「昔は良かった」と感じることもあります。かつては保護者の方から「先生、うちの子どもを指導してくれてありがとう」と言われていたことが、今は「ダメ」とされる。これは時代の流れで仕方のない部分もあると思いますが、「危

ないからダメ」間違ってるからダメ」ということがあまりにも多すぎると感じています。

たかが中高一貫の一つの学校、生徒数1500人である本校が発言したところで世の中が変わるわけではないかもしれないが、これから社会に出て、その中心で活躍していく中学生・高校生に対し、私は常に「人のダメなどところではなく、いいところを見れる人間になろう」と伝えていきます。

10個のうち9個がダメでも、残りの1個に「この人にはこんな良いところがある」と、その点を見てあげられる。そんな大人になろうと。これは若い先生方にも常に言っています。その子の良いところを指摘して、褒めて、伸ばしてあげる。悪いところばかりを見てしまうことが多すぎる気がします。

今、ハラスメントに関する問題が非常に多いですが、「あれもダメ、これもダメ」と規制で縛るのではなく、今の中学生・高校生たちに、「将来は楽しいんだぞ」「大人になったらいいことがたくさんあるんだぞ」と伝えてあげたいのです。「これから先、心配なことだらけだ」「いいことなんか何もない」と言ったら、あまりにもかわいそうです。すぐに子どもたちに通じるかは分からなくとも、「楽しみだよ」という希

望を持たせてあげなければ、彼らがかわいそうではないかと、私は強く思っています。

子どもたちを取り巻く現状

今の子どもたちは小さい頃から受験勉強をして、ボール遊びなんかをしていないのが現状です。公園ではボールを使うことが禁止され、結局ゲームしかできない環境にあります。私の孫（小学校2年生）でさえスマートフォンを持っています。遊びといえば、そういったものを中心になります。

そのような中で育ってきた子どもたちを見て、本校のような山の中で虫や動物がたくさんいる環境で、少しでも楽しい学校生活を送ってもらえたらと願っています。

一昨年には、この環境だからこそと、学校でヤギを飼いはじめました。草がたくさんあるのでヤギが食べてくれるのではないかとという期待もありました（簡単には放し飼いはできませんでしたが）。しかし、ヤギを飼ってみたところ評判が良く、子どもたちが非常にかわいがってくれます。放課後には、クラブ活動の合間にヤギを散歩させている生徒もいます。これもまた良い環境だと感じています。

教育への提言と今後の展望
現在、政治の世界では次の

リーダーを決める話題が頻繁に報じられています。教育について語ってくださる方が少ないように感じています。教育の場にいる者として、国を挙げて教育というものを本気で大切にしていかなければならない、という思いが根底にあります。

今はまだ良いのですが、あと3年後でしょうか。東京都の中学1年生あたりから、生徒の数が極端に減少します。おそらく、学校もかなりの数に減ったり、規模が縮小したりすることになると思います。人口減少が本格的になってくるのです。誰が悪いということではありませんし、多ければ良いというものでもないかもしれませんが、この状況を真剣に受け止める必要があります。

教育の場にいる人間として、私自身も校長職の任期も近づき、まもなくその職を終えますが、後輩たちに引き継ぎながら、今後も教育に尽力していきたいと考えております。

この多摩地区には、30校の校長が毎月集まり、学校の事情や悩みを共有する「校長会」があります。他の学校の様々な事情を聞く中で、これから社会に出る子どもたちに、私たち大人が何を残していけるのかを、皆で考えなければならぬと心から思っています。

一人の意見ではありませんが、今後そのようなことを考えながら、学校運営に携わっていければと思っています。また、昨年から本校の生徒も様々な場所でお世話になっているようで、その関係も続けていければ幸いです。

個人的な話になりますが、私も体育の人間なので、そろそろ甲子園に出たいという夢があります。しかし、どうしても三高、菅生、早実に勝てません。早稲田や慶応といった大学の附属校はスポーツでも活躍していますが、明治大学の附属校はあまり活躍できていません。勉強勉強ばかりじゃないんだぞ」ということを、この5年間言い続けて抵抗してきましたが、そうした目標も近々叶わないかと、常に夢見ております。

結びに

やはり、最終的には「感謝」という言葉に行きつきます。このような環境の中で、40年間体育教諭として働き、そして今、立場が変わって校長として、常に中学生や高校生と一緒にいられる環境で生活ができたことに、本当に感謝しています。

ここにいる卒業生たちにも心から感謝し、何か少しでも彼らの役に立つものを残していけたらという思いで、日々を過ごしております。

例会 報告

第2833回・2025・9・26(金)

◇司会

松本利子会場監督補佐

司会／
松本会場監督補佐

◇開会点鐘 相川 博会長

◇Rソング 奉仕の理想

◇お客様のご紹介

明治大学付属八王子中学・
高等学校校長 林健司様
ボーイスカウト八王子協議会

副会長 鈴木秀男様

事務局長 森田忠志様

◇食事と交歓 中華

◇出席報告

神保好子出席委員長

出席報告／
神保出席委員長会員118名中72名出席。
出席率64・29%。前々回9月
12日の出席率60・71%を
66・96%に修正いたします。

◇ニコニコ発表

福田邦人財務委員長

ニコニコ発表／
福田財務委員長

◇会長挨拶 相川 博会長

*先週の例会で、子安にある歯

医者さんの話をしましたが、私の言葉足らずで、「もしかして、その医者はヤブじゃないか？」と誤解されている方がいらつしやるかもしれません。実はその1年後から夫婦揃って2ヶ月に1回クリーニングに通っています。皆さんも歯のことで気になることがある時には、そこに通われてみてはいかがでしょうかと思います。

会長挨拶／
相川 博会長

*今日はお彼岸の明けです。秋のお彼岸のお供え物の定番といえはおはぎです。ご存知とは思いますが、おはぎとぼた餅は同じ物で、春には牡丹の花が咲くのでぼた餅と呼び、秋には萩の花が咲くのでおはぎと呼びます。

*ここ数年、萩の花は開花が遅れているという話を耳にしました。朝夕の気温が下がると開花するところ、9月になっても猛暑が続く状況のせいという事です。毎朝、川沿いを犬と散歩しますが、そこに咲くヒガンバナも開花が遅れています。今年の夏はセミの声もあまり聞こえませんでした。ヒグラシの鳴く時期も、赤トンボが飛ぶ時期も、自然の気温の変化で狂っているような状況です。気候変動が続く世界を変えていく必要があります。

るというふうに私は思っています。

*本日は用事がありまして、すみませんが途中で退席させていただきます。閉会点鐘は山口直前会長に託しましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

◇幹事報告 立花 探幹事

幹事報告／
立花 探幹事

*先日、八王子5クラブの10月例会予定表を配信しました。

*メールボックスに米山記念奨学事業豆辞典を配布いたしました。

◇ボーイスカウト八王子協議会へ助成金贈呈
◇スピーカー紹介
小松政人会員
スピーカー 明治大学付属八王子中学・高等学校
校長 林健司氏

◇テーマ「これからの日本を担う若者への期待をこめて 昨今の中学高校の現状」

◇謝礼贈呈

◇閉会点鐘 山口覚直前会長

◇ニコニコボックス

2025・9・26(金)

◇相川会長・ダイアログインザークでお世話になりました。卓話宜しくお願い致します。

◇立花幹事・林健司先生の卓話楽しみにしています。なお、ウチの娘が中学1年生で再来年受験を控えております。よろしくお願い致します。

◇小松・林校長先生、お忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしております！

◇松村・林校長先生、本日は東京八王子西ロータリークラブへお越しいただきありがとうございました。本日の卓話よろしくお願い致します。

◇磯間・二期生のイソマです。今日は明八のPRよろしくお祈りします。

◇近藤・林校長、楽しみにしています。

◇池田・林先生、本日の卓話よろしくお祈りいたします。

◇田辺・いつもボーイスカウトへのご支援ありがとうございます。

◇山口・林健司様、これから事業協力を宜しくお祈り致します。

◇高松・今日からシーズン開始となります。予約で本日2700名となりました。明日も2000名です。皆様、八王子を盛り上げますので是非おこし下さい。

◇村井・8月入会の村井隆三です。よろしくお祈りいたします。

(順不同・会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<https://www.hachioji-west-rc.org>

会長 相川 博 幹事 立花 探 広報委員会 草間 剛 諸星宗幸 浅川立憲 金子裕二 松島 勝 淵上 安 山本俊明 藤巻 泰